

一丁目通信

2015年4月[0069号]

Arts-eihan

発行: 株式会社アーツエイハン

WEB: <http://eihan.com> Mail: info@eihan.com

〒160-0022

東京都新宿区新宿1-18-13 協建新宿一丁目ビル

電話: 03-3355-1241 FAX: 03-5362-9325

お陰様でこの4月でアーツエイハンは創立13周年を迎えます。

これもひとえに皆様のおかげと心から感謝致します。

創業当時から比べると、制作しているコンテンツの内容や、制作手法も大きく変化してまいりました。東京オリンピックに向けて私たちの環境もこれまで以上に大きく変化していく事でしょう。

いつまでも皆様のお役にたてる様頑張っていく所存です。

これからも宜しくお願い致します。

～代表取締役 飯塚吉純～



対談レポート

クリナップ×アーツエイハン [後編]

日頃より大変お世話になっているお客様と、弊社の代表である飯塚の対談の様子をお伝えする「対談レポート」。

前回に引き続きクリナップ様のWEBを担当している鮎川を交えて、クリナップ様との対談の様子をお届けします。

弊社では、クリナップ様のWEBサイトの運用管理・保守を中心に動画制作、イベント運営などもお手伝いさせていただいています。

今回は、クリナップ公式キャラクターの「クリ夫」くんも参加してくれました！

飯塚: 初めて何うかもしませんが…我々の印象はいかがでしょうか。

金子係長: 明るくて人がいい! 嫌な顔ひとつせず色々に対応してくれますね。

遠藤課長: アットホームな雰囲気、皆さんハートがあります! そして元気がいい! 真冬でもコートを着用せずスーツだけでいらっしゃるのでびっくりします。(笑)

飯塚: 私のポリシーなんです。気合の表れです!!

鮎川: そのポリシーを私も引き継いでいます。(※コートを着用しないのは2人だけです)

金子係長: 寒くないですか?

鮎川: 寒いです(笑)

飯塚: 最後に、今後の我々に期待することについてうかがいたいです。

遠藤課長: 今後も、WEBと映像の専門家ならではの視点でアドバイスをしていただけることを期待しています。

金子係長: WEBや映像を制作していただくだけでなく、よき相談相手であってほしいですね。

飯塚: お役に立てるよう尽力いたします!

【協力】

クリナップ株式会社
遠藤課長、金子係長、クリ夫くん

【関連 URL】

■クリナップサイト

<http://cleanup.jp/>

■こだわり物語

・ステンレスワークトップの進化形

<http://kodawari-story.com/movie/cleanup02.html>

・最高級システムキッチン

<http://kodawari-story.com/movie/cleanup.html>



クリ夫くんからのコメント

こんにちは、クリ夫です。
アーツエイハンさんには
僕のお部屋もつくってもらったよ!
僕のミニゲームもあるんだよ。
挑戦してみてね!

■クリ夫のおへや
<http://cleanup.jp/cio/>



クリナップ
遠藤課長



クリナップ
金子係長



飯塚



鮎川



戦艦武蔵発見!

米マイクロソフト社の共同創業者、大富豪ポール・アレン氏率いる探査チームが、フィリピンの海で水深1000mの海底に沈んでいた戦艦武蔵を発見しました。武蔵は姉妹艦大和と共に当時は世界最大の戦艦で、1944年10月24日、第2次大戦中最大の海戦「レイテ沖海戦」で沈没、乗組員2399人のうち約半数が命を落としました。探査チームは、8年以上前から日本と米海軍それぞれの発表地点、乗組員救助に当たった日本の駆逐艦の記録と生存者が描いた地図を基に、所

有する大型船「オクトパス号」に乗り込み、ソナーと音響測深機を使って根気強く調査研究を続け、そこから得られた情報を基に捜索開始地点を推定し発見しました。先日も無人探査機に設置したカメラを使って海底に沈む船を撮影し、その映像をネットで生中継しましたが、一番の話題はアレン氏の財力、多くの財団を運営する他にSF好きで、SF博物館の設立や宇宙探査機関への寄付も行っている「究極のオコク」という事です。アレン氏の大学での専攻は「考古学」でトレジャーハンターになりたかったそうです。夢を叶える為に資産家に!まさにアメリカンドリームです。

記事: プロデューサー 末永和也

動画元年

何でも昨年は動画元年と言われ、これからのビジネスは動画だ！とも言われている。
私も含めた50代のシニアスタッフは、久しぶりに会ってビールでも飲めば昔話が桜が満開。昔は制作費が高かったとか、ギャラが良かったとか、編集で何日もスタジオに籠ったりとか、人に言えない〇〇な事があつとか…遙か昔の昭和の話を今だにしている状態。現代は配信が当たり前になり、デジタルデバイスの普及と機材の低価格化で、誰でも気軽に映像が創れるようになった。
最近よく言われるオウンドメディア（自社メディア）で企

業は自ら映像を発信できるようになり、様々な革新的なコンテンツが求められているのだ。いつまでも昔の栄光を語っても昭和の年寄りの戯言だと思われるだけ。
当社のスタッフは若者からシニアまで様々だが、平成生まれの気持ちとルックスで、「いいね」と言われるようなオリジナルコンテンツを創っていきたい。
皆様のビジネスを活性化させる事が、アーツエイハンの使命。これからもクライアントの皆様と一緒に暑苦しくて熱いコンテンツを創りあげてまいります。

記事：代表 飯塚 吉純

「フォント」を意識すると

WEBを見ていて、読みやすい、読みにくい、現代的、ダサイ... etc、感じる事があるかと思えます。それらを決める要素のひとつに「フォント」が挙げられます。これまでWEBではメイリオ、ヒラギノ、MSゴシックが、環境依存しづらく一般的でしたが、HTML5とCSS3の普及、WEBフォントの導入により、現在は環境依存せずに、上記以外のデザイン性の高い文字を表示することも可能となりました。まだ海外程普及していませんが、WEBフォントサービスも増えており、今後日本でも更に増えてくるのではないのでしょうか。
もう一つ、私がWEBに限らず、デザインを勉強する上で、

最初に言い聞かせられたのが「文字ツメ」です。
普通に打ちっぱなしにすると左下ようになります。記号や漢字、カタカナが混在した文章だと、字と字の間が統一されず変なスキマができます。このスキマを均等に、美しく整える作業です。
調整してみると右下ようになります。大見出しやロゴなど大きく目立つ場所程これが大事で、調整するとかなり印象が変わります。
社内ポスターや企画書等、何かデザインをする時にちょっと意識して調整すると、いつもより素敵なものができるかもしれません！

記事：WEBチーム 山室 亜耶

調整前

Arts-eihan (アーツエイハン)「一丁目通信」
2015.4月号 [0068]



調整後

Arts-eihan(アーツエイハン)「一丁目通信」
2015.4月号 [0068]

カップヌードルミュージアム

先日カップヌードルミュージアムに行ってきました。カップ麺のパッケージが沢山並んでいるくらいしか知りませんが、行ってみるとなかなか勉強になります。ご存知の方も多いと思いますが、世界最初のインスタントラーメンは今でも人気のチキンラーメンです。そんなチキンラーメンを原材料から製麺して揚げるといった工程を体験してきました。

麺を揚げて乾燥させる技法を開発した日清の創業者 安藤百福さんは天ぷらを見てこの技法を思いついたそうです。



海外展開の際には、現地のスタイルに合わせ、手軽に食べられるようにカップに入れた商品として、カップヌードルを開発。
チキンラーメンにとどまらず、ニーズにあった商品開発を進められたことが成功に結びついたのではないかと感じました。

記事：WEBチーム 鮎川 絢一

ええぞ〜音楽 - 音楽で観る映像 -

#3 ミュージカル映画

サウンド・オブ・ミュージック、雨に唄えば、ウエストサイド物語、シカゴ...ミュージカル映画といえば、映画ファンなら幾つかのタイトルが浮かんでくると思います。

近年では「アナと雪の女王」が想定していたよりも大ヒットとなり、ディズニーはウハウハ。その影響が絶対あると思うのですが、ジョニー・デップの歌が聞ける最新の「イントゥ・ザ・ウッズ」しかり、この手の映画が増えて来ているのはお気づきでしょうか？

インド映画はさておき、ハリウッドを筆頭に最近の映画業界の戦略が見え隠れしてきます。

メリー・ポピンズの1シーンに、デスメタルが見事にハマっている動画がYouTubeで話題に

<https://www.youtube.com/watch?v=iU2hy0L5lgg>



記事：映像仕事人 板坂 勇児